

# 大槻和夫先生著述目録

## 例言

○本「大槻和夫先生著述目録」は、一九九八年二月までに発行・発刊された単行書・雑誌所載の先生の著述を、内容・発表形態により分類し、それぞれ年次順に配列したものである。

○なお遺漏なしとしないが、確認できた著述は総計五二三点にのぼる。各著述は、以下の方針をもって標示した。

1 各著述は、掲載文献ごとに一点として数え、単行書の場合はその書名を掲げ、雑誌所載の場合は論文名を掲出することとした。

2 したがって、編纂書の複数箇所執筆、事典・辞書の複数項目執筆などは、すべて文献ごとに一点として数えることとした。

3 ただし、雑誌の連載論文・連載講座・巻頭言および文集まえがき等、同一の標題を以て執筆された著述は、標題ごとに一点として掲出することとした。

これにより、全五二三点の著述は全四一五項として標示されている。

○本「目録」の構成および項目目次は以下のとおり。

I	論文・報告書・学界時評	
■	単行書	
	▽著書	(1) ~ (13)
	▽編纂書論文	(14) ~ (63)
	▽報告書、等	(64) ~ (76)
■	學術誌	
	▽連載論文・連載講座	(77) ~ (82)
	▽研究論文	(83) ~ (145)
	▽提案・シンポジウム・特集寄稿論文	(146) ~ (330)
	▽学界時評	(331) ~ (341)
II	解題・書評・月報・新聞	(342) ~ (358)
III	事典・辞典	(359) ~ (369)
IV	選評	(370) ~ (371)
	緒言・随想	(372) ~ (392)
V	講演記録	(393) ~ (404)
VI	その他(教科書編集関連) 指導書・指導用冊子等 著述	(405) ~ (415)
VII		

○著述各項の記載要領は以下のとおり。

1 著書

目録番号・『書名』・〔編著の場合は執筆箇所の記事名〕・  
「標題」・「所在頁」・（共編著の場合は共編者名、発行所  
名、発行年月）

例

2 「ヒロシマ・ナガサキ原爆児童文学選 太陽の落ちた日」  
〔原爆児童文学について 1 「原爆児童文学紹介—中・長  
編を中心に」 p. 212～221〕  
（来栖良夫らとの共編著、  
労働教育センター、一九八〇）

2 編纂書・単行書（項目担当執筆）・報告書

目録番号・『書名』〔執筆箇所の章節名〕・「標題」・（共  
同執筆の場合は〈共著者名〉・「所在頁」・（編著者名、発  
行所名、発行年月）

例

14 「徒然草学習指導の研究」〔六「徒然草からの入試問題の  
分析」〈奥田邦男と共著〉 p. 112～148〕  
（土井忠生編、三省堂、一九六二）

3 雑誌、月報等、著述

目録番号・「シンポジウム記録・特集号の場合は、（テーマ  
名・特集名）「標題」・（共同執筆の場合は〈共著者名〉・  
（研究機関会誌の場合は編集機関名）『掲載誌名』号数、所

例

在頁、（出版社発行物の場合は発行所、発行年月）

93 「高校生の国語学習意識—目的・効用の面からみた—」  
〈白石寿文との共著〉（全国大学国語教育学会編  
『国語科教育』13、p. 74～83、学芸図書、一九六三）

147 「特集Ⅱ国語科指導課程の研究・「最後の授業」の学習」  
授業分析 授業展開の一般方式にしばらくられるな」  
『授業研究』38、p. 34～39、明治図書、一九六六）

○本「目録」作成にあたっては、大槻和夫先生より資料の提示貸  
借等さまざまなご援助をたまわった。記して深謝もうしあげる。

○なお、大槻先生のご業績各領域の主要著述については、本誌の  
「解題 大槻和夫先生」の各項にお寄せいただいたご論考をこ  
参照いただきたい。

○また、本「目録」とは別に「大槻和夫先生年譜および著述目録」  
（全著述を執筆順に掲載したもの）を作成し、「論叢 国語教  
育学」5（一九九九年三月刊）に掲載した。あわせてご利用い  
ただければ幸いである。

I 論文・報告書・学界時評

■ 単行書

▽著書

- 1 「中学校指導シリーズ 国語 読書への招待」
- 2 「ヒロシマ・ナガサキ原爆児童文学選 太陽の落ちた日」〔原爆児童文学について 1「原爆児童文学紹介—中・長編を中心に」 p 212～221〕  
(来栖良夫らと共編著、労働教育センター、一九八〇8)
- 3 「国語教材研究シリーズ7 説明文編」〔一「説明文教材の性格・分析と指導方法」 p 7～19、二「低学年教材」さげが大きくなるまで〕(教育出版・二年下) p 20～50  
(野地潤家と共編著、桜楓社、一九八一6)
- 4 「国語教材研究シリーズ8 論説・評論編」〔一「論説・評論の指導と教材分析」 p 5～21〕  
(野地潤家と共編著、桜楓社、一九八一11)
- 5 「基礎学力保障のために② 達成目標を明確にした国語科授業改造入門」〔はじめに〕 p 1～2、「I 達成目標明確化の意義と国語科授業の改善」 p 9～21、「III 達成目標明確化による授業過程の改造」 p 57～70〕 (編著、明治図書、一九八二10)
- 6 中学校教育実践選書11「わかる授業の創造」〔第一章「学びがいのある授業とは」 p 9～45〕  
(高田哲郎と共編著、あゆみ出版、一九八三4)
- 7 「たのしくわかる高校国語I・IIの授業 1 文学」〔まえがき〕 p 3～5 (田近洵一らと共著)〕  
(田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇8)
- 8 「たのしくわかる高校国語I・IIの授業 2 説明・論説・作文」〔まえがき〕 p 3～5 (田近洵一らと共著)、I 実践の視点 2 「作文の授業」 p 16～21〕  
(田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇9)
- 9 「たのしくわかる高校国語I・IIの授業 3 古典」〔まえがき〕 p 3～5 (田近洵一らと共著)、III これからの実践と研究 I 「古典教育の課題」古典の授業を魅力あるものに p 204～213〕  
(田近洵一らと共編著、あゆみ出版、一九九〇10)
- 10 「教職科学講座17 国語教育学」〔まえがき〕 p 3～5、序章「国語教師への道」 p 9～13、第1章「国語科の仕事」 p 14～19〕 (編著、福村出版、一九九〇10)
- 11 「中学校・高等学校 国語科教育法—教材の研究と授業の実際—」〔第一編総説編 第一章「国語科教育のあゆみ」 p 7～16、第二章「国語科教育の課題」 p 17～24〕  
(川端俊英らと共編著、双文社、一九九一4)
- 12 「国語教育基本論文集成26 国語教育方法論(3) II 指導過程論」〔解説〕 p 482～489〕 (編集・解説、明治図書、一九九三9)
- 13 「中学校・高等学校 国語科学習指導の研究」〔第二編高等学校

校編 第一章「国語科の目標と内容」p 65～76（川端俊英との共著）  
（川端俊英らと共編著、双文社・一九九七）

▽編纂書論文

14 「徒然草学習指導の研究」〔六〕「徒然草からの入試問題の分析」  
（奥田邦男と共著）p 112～148

（土井忠生編、三省堂、一九六二）

15 「講座授業研究V 授業の組織化と検証」〔III〕授業の効率と組織化（実践記録）三「小学校高学年（最後の授業）の実践」  
（高田亘と共著）p 102～115

（砂沢喜代次編、明治図書、一九六四）

16 「近代国語教育年表II—大正編—」〔共同作業〕（野地潤家編、

広島大学教育学部国語教育研究室、一九六四）

17 「学校教育全書7 国語教育」〔I〕国語教育の意義 2 国語教育の流れ（3）諸外国の国語教育「西ドイツの国語教育」p 55  
（石井庄司編、全国教育図書、一九六六）

18 「授業の集団化」〔III〕授業の実践過程とその分析 一国語科における教材研究と集団思考3「くもの糸」——八幡中学校一年国語の分析— p 104～117

（全国授業研究協議会編、明治図書、一九六八）

19 「作文・綴り方教育史資料 下」〔VI〕昭和戦前期—国民学校時代の綴り方教育— p 359～382、「作文・綴り方教育史略年表」p 479～489  
（野地潤家編、桜楓社、一九七二）

20 「古典の教え方（物語・小説編）」〔「今昔物語」（馬盗人）—教材の扱い方と実践授業の展開— p 317～336  
（宮崎健三ほか編、右文書院、一九七二）

21 「中学校／高等学校 国語科教育法」〔第三章国語科授業の成立・展開1「国語科授業の成立」— p 31～34  
（熊沢竜ほか編、桜楓社、一九七三）

22 「戦前の教育と私」〔「座談会・手記を読んで」— p 315～338  
（広島平和教育研究所編、朝日新聞社、一九七三）

23 「世界の作文教育」〔第3章ドイツの作文教育— その1「ドイツ民主共和国（東独）の作文教育」— p 131～174  
（野地潤家編、文化評論出版、一九七四）

24 「現代教科教育学大系2・言語と人間」〔III〕教科教育としての言語教育 1「国語科の成立・展開—ドイツ」— p 124～128、IV言語教育の未来像 1「教育改革の動向と言語教育—（2）変動する社会と国語教育」— p 190～197  
（倉澤栄吉ら編、第一法規、一九七四）

25 「訓育と生活指導の理論」〔第一部授業における訓育III教材と訓育 3「人文的学科（言語・文学）と訓育」— p 70～83  
（佐藤正夫編、明治図書、一九七四）

26 「小学校国語科教育法」〔第二章国語科指導への視点 4「発問の工夫」— p 32～36  
（熊沢竜ほか編、桜楓社、一九七五）

27 「教育方法8 教育課程再編の原則」〔III〕諸外国における教育課程再編の動向 三「ドイツ民主共和国における教育課程の改革」—（加納幹雄ほかとの共著）— p 153～176

- (日本教育方法学会編、明治図書、一九七六) 10
- 28 「現代作文講座 7 作文教育の方法」〔各国の作文教育 3 「ドイツ民主共和国〈東独〉の作文教育」 p 254~260〕  
(林大ほか編、明治書院、一九七六) 11
- 29 「ヒロシマで教える 核時代の平和教育」〔第三章 原爆教育と児童文化〕 p 177~203  
(NGO被爆問題国際会議広島専門委員会・広島平和教育研究所編、労働教育センター、一九七七) 7
- 30 「原爆と広島大学 「生死の火」学術編」〔III 「平和教育関係」 p 269~276〕  
(広島大学原爆死没者慰霊行事委員会編、同発行、一九七七) 9
- 31 「核と平和 日本人の意識」〔V 平和教育と核意識 1 「家庭の平和教育と子どもの核意識」 p 83~93、同 2 「学校の平和教育と子どもの核意識」 p 93~107、X 総括と提言 2 「平和教育への提言」 p 214~220〕  
(庄野直美ほか編、法律文化社、一九七八) 12
- 32 「新版 中学校／高等学校 国語科教育法」〔第七章 国語科授業の展開 1 「国語科授業の成立と展開」 p 138~145〕  
(中西昇ほか編、桜楓社、一九七九) 4
- 33 「教育学講座 8 国語教育の理論と構造」〔第四章 国語教育の課題 第一節 「学力問題」 p 160~171〕  
(倉澤栄吉ほか編、学習研究社、一九七九) 11
- 34 「現代教授学 2 授業における発達の教授学」〔V 「授業の指導と知的発達」 p 92~108〕(吉本均編、明治図書、一九八〇) 5
- 35 「講座 中学校国語科教育の理論と実践 第一巻 中学校国語科の理論」〔I 国語科教育の基礎理論「教科構造論—国語科の構造—」 p 62~74〕  
(増淵恒吉ほか編、有精堂、一九八〇) 11
- 36 「講座 国語科教育の探究 1 総論—言語指導の整理と展望」〔言語編 II 章 「言語事項の指導内容論」 p 145~165〕  
(全国大学国語教育学会編、明治図書、一九八一) 2
- 37 「国語教育史資料・第六巻 年表」(橋本暢夫らと共同作業) (野地潤家編、東京法令出版、一九八一) 4
- 38 「新版 国語教育学研究」〔第九章 国語科教育の課題 二 「学力論と国語科教育」 p 270~274〕  
(全国大学国語教育学会編、学芸図書、一九八一) 5
- 39 「藤原与一先生古稀記念論集・方言学論叢 II—方言研究の射程」〔「ドイツの方言指導」 p 269~280〕  
(藤原与一編、三省堂、一九八一) 6
- 40 「シリーズ・小学校国語科教育 5・単元学習の進め方」〔「単元学習と国語学力の関係を、どう考えるか」 p 207~219〕  
(倉澤栄吉ほか編、教育出版、一九八二) 2
- 41 「国語科教育研究 1 国語学力論と実践の課題」〔序章「なぜ今、学力を問題にするのか」 p 7~18〕  
(全国大学国語教育学会編、明治図書、一九八三) 2
- 42 「中学校教育実践選書〈教科編〉たのしくわかる 中学国語の授業 2 古典と説明的文章」〔II 説明的文章 第一章「説明的文章の授業の現状と問題点」 p 123~137〕  
(太田昭臣ほか編、あゆみ出版、一九八三) 5

- 43 「国語教育叢書15 国語科教授法実践必携」〔第二章国語科教育の核心 2 「教材研究」p 36～38〕  
 (解釈学会編、教育出版センター、一九八三)
- 44 「最新 中学校国語科指導法講座1 国語科指導法総論」〔I 中学校における国語科指導課程の構想5 「国語科の授業改善」p 57～67〕  
 (飛田多喜雄ほか編、明治図書、一九八四)
- 45 「講座／現代の文学教育第3巻 小学校「高学年編」」〔第二章教材研究と指導 6 「ネギを植えた人」(金素雲) — 朝鮮民族の心— p 96～106〕  
 (日本文学協会国語教育部会編、新光閣書店、一九八四)
- 46 「教科教育学Ⅰ—原理と方法—」〔第2章教科教育の領域と方法第1節「国語能力の形成と教科」p 35～52〕  
 (広島大学教科教育学研究会編、建帛社、一九八六)
- 47 「教科教育学Ⅱ—教科過程論—」〔第3章諸外国の教科課程第6節「中国の教科過程」p 110～119、第4章教科過程編成の基本問題 第1節「教科存立の根拠と教科の編成」p 127～131〕  
 (広島大学教科教育学研究会編、建帛社、一九八六)
- 48 「大学院における高校教員養成の在り方に関する理論的・実証的研究」1 「〔IV高等学校教科課程の改善について〕「国語科」p 39～41〕  
 (広島大学教育学部、一九八七)
- 49 「授業の構想と展開のタクト」〔II 「働きかける」教授技術の構造」p 59～84、III 「集団思考の成立と媒介的指導」p 85～122、III 「集団思考を呼びおこす指導技術」p 123～154、IV 「能動的学習と班話し合いの指導」p 155～182、V 「授業展開における応答的タクト」p 183～209〕へ共同執筆  
 (吉本均ほか編、ぎょうせい、一九八七)
- 50 「たのしくわかる 国語3年の授業」〔第VI章国語教育・明日への課題①「国語科における学力保障」p 200～210〕  
 (田近洵一ほか編、あゆみ出版、一九八八)
- 51 「実践教職課程講座23 国語科」〔第5章「授業研究」p 237～256〕  
 (望月善次ほか編、日本教育図書センター、一九八八)
- 52 「情操の教育(改訂版)」〔8 「子どもの読書生活Ⅱ—その方法」p 76～86、9 「文学の授業」p 87～103〕  
 (片岡徳雄ほか編、放送大学教育振興会、一九八九)
- 53 「新 中学校／高等学校 国語科教育法概論」〔第一部総論編第三章高等学校の国語科 第四節「現代文」の学習指導」p 80～84〕  
 (倉澤栄吉、他編、有精堂、一九九〇)
- 54 「小学校教育技術全集2 ことばの学び手を育てる国語科の授業」〔第1章国語科教育の今日的課題1 「国語科における学力保障」p 16～24〕 (田近洵一編、ぎょうせい、一九九〇)
- 55 「平和と教育実践選書6 国語・文学と平和」〔第一章国語・文学の教育と平和教育 1 「読み方・文学教育と平和教育の課題」p 9～15〕  
 (中川暁編、桐書房、一九九〇)
- 56 「新版 中学校・高等学校 国語科教育研究」〔IX国語科の課題4 「二十一世紀に向けて」p 177～179〕  
 (全国大学国語教育学会編、学芸図書、一九九一)
- 57 「ことばの学び手を育てる 国語単元学習の新展開Ⅰ 理論編」〔第一章国語単元学習の理論 三 「国語の学力と単元学習」

p 36 ~ 53] (日本国語教育学会編、東洋館出版社、一九九二)

58 [「国語単元学習の新展開 1 理論編」] [第3章「国語学力と単元学習」 p 36 ~ 53]

(日本国語教育学会編、東洋館出版社、一九九二)

59 [「新 国語教育学研究」] [第一章「国語科教育学研究の課題」

p 7 ~ 16] (全国大学国語教育学会編、学芸図書、一九九三)

60 [「読者論」] に立つ読みの指導 小学校高学年編 [第一章「読者論に立つ読みの授業の構想—文学作品の読みの過程とその指

導」 p 11 ~ 26] (田近洵一ほか編、東洋館出版社、一九九五)

61 [「国語教育学の建設 1 国語科教師教育の課題」] [まえがき 2・

国語科教師教育の進展のために] p 4 ~ 6、第1章国語科教師教育と国語教育学

一「国語科教師教育における国語教育学の目的と体系」 p 24 ~ 35]

(全国大学国語教育学会編、明治図書、一九九七)

62 [「西郷竹彦文芸・教育全集 13 文芸学入門」] [解説「西郷竹彦

学とそれに基づく文芸の授業の今日的意義」 p 483 ~ 491]

(西郷竹彦著、恒文社、一九九八)

63 [「野地潤家著作選集 別巻 2 野地潤家国語教育論を読む」

[著作選集について「国語教育個体史研究の意義—国語教育実践・研究の確かな拠点の構築」 p 17 ~ 19、野地潤家論など「野

地潤家(のじ・じゅんや) —「国語教育研究大辞典」の項目から] p 326 ~ 328]

(中西一弘編、明治図書、一九九八)

▽報告書、等

64 [「学習能率化のための基礎調査報告書(高校生の国語学習意識)」]

(野地潤家・白石寿文と共著、

広島大学教育学部国語教育研究室、一九六五)

65 [「一般研究 C・発達段階に応じた教育目的とその具体化の方法

に関する研究—初等段階を中心として—」] [ドイツ民主共和国の国語教育—カリキュラムを中心に—] p 5 ~ 24]

(広島大学教育学部教科教育研究会編、一九七五)

66 [「宮城教育大学の教育改革 視察報告書—」] [「I 宮城教育大学

における改革の理念と方法」 p 1 ~ 3、「VI 入試改革」 p 40 ~ 41]

(広島大学教育学部研究センター・教師教育プロジェクト編

「大学研究ノート」 23、一九七六)

67 [「ヒロシマからの報告—平和・教育・被爆者問題を考える」

[第2部ヒロシマの平和教育とその展望・報告と討論「家庭や

子どもの状況と平和教育」 p 127 ~ 141]

(山田浩ほか編、労働教育センター、一九七六)

68 [「教職能力形成のための実践的研究 II 教育システムの開発

(II) —「教授用フィルム(VTR) による小学校国語説明

文指導の記録とその分析」 p 65 ~ 85]

(広島大学教育学部教育方法改善研究委員会編、一九八〇)

69 [「教育実習研究 昭和55年度」] [III 授業指導論 2「国語科の授

業構成と授業観察」 p 35 ~ 40]

(広島大学教育学部・

同附属中等学校・同附属小学校編、同発行、一九八〇)

70 〔文部省初等中等教育局昭和55年度教育研究開発に関する調査研究委嘱事業〕 小学校における各教科の内容に関する国際的比較研究II 〔第四章「西ドイツの小学校国語科教育」p.51～81〕

〔現代教育課程研究会編、文部省初等中等教育局、一九八一〕  
71 〔教職能力形成のための実践的研究II教育システムの開発(III)〕 〔「国語教育学」教育改善の一方策―教授用VTRテープの作成とその利用〕 p.131～148〕

〔広島大学教育学部教育方法改善研究会編、一九八一〕  
72 〔授業研究の手引き〕 〔「国語科授業研究の手引き」p.135～144〕

〔広島大学教育学部教育方法改善研究会編、一九八四〕  
73 〔研究開発実施報告書B 中学校及び高等学校における教育の連携を深める教育課程の開発〕 〔「運営指導委員としてコメント」所在頁未確認〕 〔広島大学附属中・高等学校編、一九八八〕

74 〔国語科教育改善のための国語能力の発達に関する総合・実証的研究〕 〔平成7年度文部省科学研究費補助金(総合研究A―1)研究成果中間報告書〕 (研究代表者、一九九五)

75 〔国語科教育改善のための国語能力の発達に関する総合・実証的研究II〕 〔平成8年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A―1)研究成果報告書〕 (研究代表者、一九九七)

76 〔国語科教育改善のための国語能力の発達に関する実証的・実践的研究I〕 〔平成9年度文部省科学研究費補助金(基盤研究B―1)研究成果中間報告書〕 (研究代表者、一九九八)

## ■ 学術誌

### ▽連載論文、連載講座

77 『ドイツ民主共和国の国語教育』

中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』

1 「補習教育要項」を中心に (17、p.117～119、七二)

2 文学教育における陶冶と訓育の目標 (18、p.95～97、七三)

3 「寓話」の取り扱い (19、p.136～138、七四)

4 「メルヘン」の取扱い (20、p.173～175、七五)

5 シュトルム「白馬の騎者」の取り扱い (21、p.141～143、七六)

6 外国文学の取り扱い (22、p.152～154、七七)

7 国語学力の発達の問題を中心に (23、p.156～158、七八)

8 言語教育における「コミュニケーションの原理」について (24、p.233～235、七九)

9 表現指導を中心に (25、p.223～225、八〇)

10 文法指導を中心に (26、p.302～305、八一)

11 語彙指導を中心に (27、p.238～241、八二)

12 正書法の指導を中心に (28、p.220～223、八三)

13 議論作文の指導を中心に (29、p.314～317、八四)

14 文学教育改革の動向を中心に (30、p.354～357、八五)

15 読み方の指導を中心に (31、p.266～269、八六)



- 16 言語教育課程の改革を中心に (32—2、p 19—24、八七—3)  
 17 言語教育改革の事例 (33—2、p 43—48、八八—3)  
 78 『連載講座・新授業入門—「わかる授業」をどうつくるか—』  
 Ⅱ 『教育技術・中学教育』、小学館

- 1 その基本 (p 68—73、七三—9)  
 2 教材研究について (p 66—71、七三—10)  
 3 発問について (p 68—73、七三—11)  
 4 学習集団の指導 (p 70—75、七三—12)  
 5 教師の話し方 (p 60—65、七四—1)  
 6 教育評価について (p 72—77、七四—2)  
 7 条件整備を求めて (p 72—77、七四—3)  
 79 『基礎講座Ⅱ授業改善の方法』Ⅱ 『月刊国語教育』、東京法令出版

- 1 授業改善の出発点—問題をとらえる— (41、p 116—121、八五—2)  
 2 授業の成立をめざして (42、p 112—117、八五—3)  
 3 「おもしろくない授業」を「おもしろい授業」へ (43、p 108—113、八五—4)  
 4 「学習のてびき」の工夫を中心とした授業改善 (44、p 106—111、八五—5)  
 5 学習者相互のかかわりあいの組織化を (45、p 116—121、八五—6)  
 6 個人的、集団的な授業改善の進め方 (46、p 114—119、八五—7)  
 80 『連載Ⅱ国語科教育授業改革の課題』

- Ⅱ 『教育科学・国語教育』、明治図書  
 1 問題の発見—何を改革するのか— (361、p 120—125、八六—4)  
 2 「授業の地獄」からの脱出 (その一) (363、p 120—125、八六—5)

- 3 生き生きとした学習をつくりだすために (364、p 120—125、八六—6)  
 4 授業過程改革の基本 (366、p 120—125、八六—7)  
 5 主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために (その一) (367、p 120—125、八六—8)  
 6 主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために (その二) (368、p 120—125、八六—9)  
 7 子どもたちの目を醒ます語りかけを (369、p 120—125、八六—10)  
 8 「学習の手引き」に工夫を (370、p 117—122、八六—11)  
 9 関わり合う教室を創り出すために (372、p 110—114、八六—12)  
 10 指導的評価活動の見直し (373、p 120—125、八七—1)  
 11 指導事項の重点化を (374、p 120—125、八七—2)  
 12 授業改善のすじみち (375、p 120—125、八七—3)  
 81 『連載—私の本棚 大槻和夫』  
 Ⅱ 日本平和教育研究協議会編集 『平和教育』、明治図書  
 1 (26、p 96—97、八七—4)  
 2 (27、p 96—97、八七—7)  
 3 (28、p 96—97、八七—10)

- 4 (29, p 96 ~ 97, 八八一)
- 5 (30, p 96 ~ 97, 八八四)
- 6 (35, p 96 ~ 97, 八九七)
- 82 「連載」諸外国の国語教育」

II 「月刊国語教育」、東京法令出版

1 ドイツ民主共和国の国語教育① 体系的な文学教育 (75, p 12 ~ 17, 八七12)

2 ドイツ民主共和国の国語教育② 長編小説の取り扱い (76, p 16 ~ 21, 八八一)

3 ドイツ民主共和国の作文教育① 体系的系統的な作文指導 (94, p 23 ~ 28, 八九7)

4 ドイツ民主共和国の作文教育② 示唆に富む議論文指導 (95, p 23 ~ 28, 八九8)

### ▽研究論文

83 「保科孝一氏のドイツ国語教育摂取の態度―日独国語教育交渉史研究(中間報告)―」 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 5, p 181 ~ 186, 一九六〇8)

84 「ディルタイ解釈学移入史の予備的考察―「解釈学の成立」を中心に―」 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 6, p 241 ~ 246, 一九六一7)

85 「ディルタイ解釈学移入史の予備的考察(2)―「歴史的理性批判」を中心に―」 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 7, p 215 ~ 220, 一九六二4)

86 「思考過程と過去経験―授業過程の分析」(吉本均ほかとの共著)〔三〕「学習効果の比較検討」 p 80 ~ 89 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 8, p 69 ~ 90, 一九六三10)

87 「ディルタイ解釈学の摂取について―勝部謙造博士のばあい―」 (広島大学教育学部光葉会編 『国語教育研究』 8, p 448 ~ 457, 一九六三12)

88 「近代ドイツ国語教育論の一流源―ヒルデブラントの国語教育論―」 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 9, p 201 ~ 210, 一九六四3)

89 「思考過程と過去経験」(佐藤正夫・広島大学教育学部教育方法学グループとの共著) (全国授業研究協議会編集 『教授学研究』 1, p 44 ~ 72, 明治図書, 一九六四11)

90 「道徳的思考と学級集団―授業分析第三次報告―」(広島大学教育方法学研究室グループ共同執筆) (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 10, p 66 ~ 72, 一九六五3)

91 「なぜ書かせるのか―技術主義の克服―」 (広島県教職員組合教文部編 『広島教育』 162, p 54 ~ 57, 広島教育会館出版部, 一九六五8)

92 「マティアスの「ドイツ語教授史」について―ドイツの国語教育史研究―」 (中国四国教育学会編 『教育学研究紀要』 11, p 96 ~ 98, 一九六六2)

93 「高校生の国語学習意識―目的・効用の面からみた―」(白石寿文との共著) (全国大学国語教育学会編 『教育学研究紀要』 11, p 96 ~ 98, 一九六六2)

- 94 「近代ドイツ国語教育の成立・展開に関する一考察—ギムナジウムの教則を中心に—」  
 (大下学園国語科教育研究会編  
 『研究紀要』11、p 297～317、大下学園祇園高校、一九六六12)
- 95 「ヒルデブラントについての—考察—東独におけるその評価—」  
 (中国四国教育学会編  
 『教育学研究紀要』12、p 114～116、一九六七4)
- 96 「ラーズの国語教育論—近代ドイツ国語教育史研究—」  
 (広島大学教育学部光葉会編  
 『国語教育研究』14、p 59～67、一九六八2)
- 97 「19世紀末のドイツの作文教育論—中等学校作文教育を中心に—」  
 (中国四国教育学会編  
 『教育学研究紀要』13、p 130～132、一九六八3)
- 98 「国民学校国語教育研究序説—教授原論面を中心に—」  
 (広島大学教育学部編  
 『広島大学教育学部紀要』17号第一部、p 113～125、一九六八12)
- 99 「19世紀末のドイツの国語教育論—中等学校読み方教育を中心に—」  
 (中国四国教育学会編  
 『教育学研究紀要』14、p 146～148、一九六九3)
- 100 「19世紀ドイツにおける文法教育論の展開—中等学校文法教育論を中心に—」  
 (中国四国教育学会編  
 『教育学研究紀要』15、p 126～128、一九七〇3)
- 101 「19世紀ドイツの国語教育—古ドイツ語の教授—」  
 (中国四国教育学会編  
 『国語科教育』13、p 74～83、学芸図書、一九六六3)
- 102 「文学教育の目標と課題—ドイツ民主共和国(東独)のばあい—」  
 (『教育学研究紀要』16、p 119～121、一九七一3)
- 103 「国語科教育」20、p 42～49、学芸図書、一九七三3
- 104 「集団過程研究II 学習集団の問題」(教育情報センター編  
 『授業研究情報』4、明治図書、p 21～27、一九七三3)
- 105 「集団過程研究II 学習集団の研究」(吉本均、他との共著  
 『研究紀要』1、p 19～31、広島大学教育学部、一九七三3)
- 106 「集団過程研究II 発問と集団思考」(吉本均、他との共著  
 『研究紀要』2、p 14～24、広島大学教育学部、一九七三3)
- 107 「ドイツ民主共和国の文学教育—詩教育を中心に—」  
 (広島大学教育学部光葉会編  
 『国語教育研究』20、p 27～39、一九七三12)
- 108 「考えさせる授業と学習集団の問題」  
 (教育情報センター編  
 『授業研究情報』3、p 21～27、明治図書、一九七四3)
- 109 「学習集団の構造とその指導過程」(吉本均、他との共著  
 『研究紀要』3、p 7～11、広島大学教育学部、一九七五3)
- 110 「文学教育カリキュラムの構造—ドイツ民主共和国のばあい—」  
 (全国大学国語教育学会編  
 『国語科教育』23、p 44～51、学芸図書、一九七六3)

110 「集団過程研究（Ⅰ） 学習行為の特性と学習集団」〈吉本均、他との共著〉

〔研究紀要〕 4、p134、広島大学教育学部・附属共同研究体制編

111 「集団過程研究（Ⅰ） 集団思考の組織化と教師の指導性」

〔研究紀要〕 5、p139、広島大学教育学部・附属共同研究体制編  
〔教材解釈力の訓練—文学の授業の場合—〕

〔研究紀要〕 6、p16325、明治図書、一九七八（3）

112 「言語教育の目標と課題—ドイツ民主共和国の場合—」

〔研究紀要〕 6、p1310、広島大学教育学部、一九七八（3）

113 「文学教育の独自性について—ドイツ民主共和国の国語教育論から—」

〔研究紀要〕 6、p1310、広島大学教育学部、一九七八（3）

114 「国語教育の目標と課題—ドイツ民主共和国の場合—」

〔研究紀要〕 24、p14322、一九七八（8）

115 「国語教育の目標と課題—ドイツ民主共和国の場合—」

〔研究紀要〕 26、p7884、学芸図書、一九七九（3）

116 「教師教育研究（Ⅰ） 高校教師養成に関する調査研究—広島大学教育学部卒業生を対象として—」〈垣田直巳ほかとの共著〉

〔研究紀要〕 7、p7791、広島大学教育学部、一九七九（3）

117 「集団過程研究（Ⅰ） 集団思考の深化と組織化のための「指導言」の分析」〈吉本均、他との共著〉

〔研究紀要〕 8、p1310、広島大学教育学部、一九八〇（3）

118 「教師教育研究（Ⅰ） 教育実習生に対する授業作成過程の指導」〈垣田直巳、他との共著〉

〔研究紀要〕 8、p7785、広島大学教育学部、一九八〇（3）

119 「ドイツにおける小学読本の歴史的展開（Ⅰ）」

〔研究紀要〕 26下、p462471、一九八〇（11）

120 「集団過程研究Ⅲ 主体的・集団的学習活動成立のための指導技術—社会科「大工場と中小工場」の授業分析を中心として—」

〔研究紀要〕 9、p15321、広島大学教育学部、一九八二（3）

121 「集団過程研究Ⅱ 主体的・集団的学習活動成立のための指導技術の実証的研究—社会科「低地のくらし」の授業分析を中心として—」〈恒吉宏典、他との共著〉

〔研究紀要〕 10、p9314、広島大学教育学部、一九八二（5）

122 「文学教育と平和教育」

〔平和教育〕 16、p18327、明治図書、一九八三（2）

123 「教師教育研究Ⅰ」 高校教師の養成・現職教育充実のための方策について―高校教師へのアンケートを通して―（垣田直巳、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 11、p 55～65、広島大学教育学部、一九八三）  
124 「文学の授業の原理について―ドイツ民主共和国の文学教育論から―」（広島大学国語国文学会編）

「国文学放」 101、p 49～57、一九八四）  
125 「集団過程研究Ⅰ 授業展開における教師の指導技術Ⅱ」 「タクト」の実証研究―対立・分化の組織化と集団思考の深化を中心に―（恒吉宏典、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 12、p 1～11、広島大学教育学部、一九八四）  
126 「関西集会・発表要旨」（日本国語教育学会編）  
「月刊・国語教育研究」 148、p 22、一九八四）

（吉本均・学習集団研究会編）  
127 「国語教育と学習集団」（学習集団研究） 10、p 118～130、明治図書、一九八四）  
「学習集団研究」 10、p 118～130、明治図書、一九八四）  
128 「古田擴先生の国語教育論」（全国大学国語教育学会編）  
「国語科教育」 33、p 152～155、学芸図書、一九八六）

129 「留学生日本語教育の歴史Ⅰ」 日本語・日本事情（一）（広島大学留学生日本語教育研究室編）  
「広島大学留学生日本語教育」 2、p 55～56、一九九〇）  
130 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究（Ⅰ）―物語文指導の場合―」（吉田裕久、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 18、p 1～11、広島大学教育学部、一九九〇）  
131 「これからの教科教育」（日本教育学会編）

「教育学研究」 57―1、p 61～64、一九九〇）  
132 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究（Ⅱ）―物語文指導の場合―」（吉田裕久、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 20、p 31～40、広島大学教育学部、一九九二）  
133 「言語・言語文化への関心を高める国語科授業」（吉田裕久、他との共著）（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 20、p 41～49、広島大学教育学部、一九九二）

134 「1970年代以降のドイツにおける国語教育改革―プロジェクト法ブロック授業を中心に―」（中国四国教育学会編）  
「教育学研究紀要」 38第2部、p 55～60、一九九三）  
135 「言語・言語文化への関心を高める国語科授業（Ⅱ）」（吉田裕久、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 21、p 53～62、広島大学教育学部、一九九三）  
136 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究（Ⅲ）―物語文指導の場合―」（吉田裕久、他との共著）

（広島大学教育学部・附属共同研究体制編）  
「研究紀要」 21、p 21～30、広島大学教育学部、一九九三）  
137 「言語・言語文化への関心を高める国語科授業（Ⅲ）」（吉田裕久、他との共著）

〔研究紀要〕 22、p 51～59、広島大学教育学部、一九九四(3)

138 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(4)」―物語文指導の場合―(吉田裕久、他との共著)

(広島大学教育学部・附属共同研究体制編)

〔研究紀要〕 22、p 21～30、広島大学教育学部、一九九四(3)

139 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(5)」―物語文指導の場合―(吉田裕久、他との共著)

(広島大学教育学部・附属共同研究体制編)

〔研究紀要〕 23、p 17～26、広島大学教育学部、一九九五(3)

140 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(6)」―物語文指導の場合―(吉田裕久、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 24、p 39～48、広島大学教育学部、一九九六(3)

141 「小・中・高等学校12か年一貫教育課程の開発(1)」(原田彰、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 24、p 1～10、広島大学教育学部、一九九六(3)

142 「自己学習力を育てる国語科学習指導の研究(7)」(吉田裕久、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 25、p 45～54、広島大学教育学部、一九九七(3)

143 「小・中・高等学校12年一貫教育課程の開発(2)」(片上宗二、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 25、p 1～10、広島大学教育学部、一九九七(3)

144 「小・中・高等学校12年一貫教育課程の開発(3)」(片上宗二、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 26、p 1～9、広島大学教育学部、一九九八(3)

145 「生きて働く力を育てる国語科学習指導の研究(1)」(吉田裕久、他との共著)

(広島大学教育学部・関係附属学校園共同研究体制編)

〔研究紀要〕 26、p 45～54、広島大学教育学部、一九九八(3)

▽提案・シンポジウム・特集寄稿論文

146 「(特集)『教授・学習課程研究』の構想」授業の研究：国語教材Ⅱ壺井栄「坂道」(中1)〈分析〉(小川太郎・佐藤正夫との共著)、『授業研究』10Ⅱ臨時増刊号、所在頁未確認、明治図書、一九六四(9)

147 「(特集)『国語科指導課程の研究・最後の授業』の学習」授業分析 授業展開の一般方式にせられるな」、『授業研究』38、p 34～39、明治図書、一九六六(11)

148 「読書指導と教科学習指導との関連」(広島大学附属小学校・学校教育研究会編)

149 「国語の基礎能力と授業構造」、『学校教育』601、p 12～17、一九六七(11)

- (広島大学附属小学校・学校教育研究会  
「学校教育」620、p 13～19、一九六九(6)
- 150 「特集Ⅱ一次感想の扱いをどう考えるべきか・4」一次感想発表はなぜ必要か―授業研究にもとづく一つの試論―  
(「教育学・国語教育」142、p 22～27、明治図書、一九七〇(8)
- 151 「特集Ⅱ教材研究・教材解釈 どこに問題があるか」現代課題に対処する視点からの研究を―  
(「授業研究」84、p 5～8、明治図書、一九七〇(9)
- 152 「(論説) 国語科教育研究の構想―課題と方法―」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編「学校教育」638、p 12～17、一九七〇(12)
- 153 「説明的文章の教材論」(「教育学・国語教育」152、p 20～26、明治図書、一九七二(6)
- 154 「特集Ⅱリレー討論 授業研究の方法論をめぐって・14」授業研究の基本的な問題について―  
(「現代教育学」164、p 88～95、明治図書、一九七二(6)
- 155 「学習集団の組織化」論の基本的前提について―  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編「学校教育」645、p 12～17、一九七二(7)
- 156 「特集Ⅱ「能力・発達と評価」研究を全教師のものにするために」問題提起―  
(広島県教職員組合教文部編「広島教育」241、p 34～41、広島教育会館出版部、一九七二(1)
- 157 「探求・表現する学習内容の開発―その教授学的国語教育学的試論―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編「学校教育」658、p 12～17、一九七二(8)
- 158 「特集Ⅱ可能性を引き出す授業技術の分析・3」板書・ノートの方法と研究課題―  
(「現代教育学」179、p 29～34、明治図書、一九七二(9)
- 159 「探求・表現する学習の成立条件―授業展開の面について―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編「学校教育」659、p 12～17、一九七二(9)
- 160 「(12月例会) 戦争児童文学による平和教育を進めるために」問題提起―  
(「平和教育研究」1、p 54～63、一九七二(12)
- 161 「特集Ⅱ実践分析・一次感想の扱いをめぐって・2」文学作品の読みとりの本質をふまえて―  
(「教育学・国語教育」173、p 41～44、明治図書、一九七三(2)
- 162 「特集Ⅱ通信簿のどこを改善すべきか・5」見る側になつての改善を―  
(「現代教育学」185、p 28～29、明治図書、一九七三(3)
- 163 「学習集団づくりと学習内容―真の学習の成立をめざして―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編「学校教育」670、p 12～17、一九七三(8)
- 164 「特集Ⅱ授業研究の方法とその研究課題Ⅰ」国語科における授業研究の方法―  
(「授業研究」121、p 89～94、明治図書、一九七三(10)

165 「特集Ⅱ授業で子どもが「変わる」ということは、どういうことか・2」授業における主権者の形成」

〔現代教育科学〕194、p 15～18、明治図書、一九七三(12)

166 「特集Ⅱ広教組・沖教組平和教育交流団報告」基地の中の沖縄—沖縄返還とはなんであったか—

(広島県教職員組合教文部編)

〔広島教育〕267、p 24～27、一九七三(12)

167 「特集Ⅱ読書会で発言しない子の指導」発言しない子と学習集団づくり」

(全国学校図書協議会編)

168 「家庭における平和教育の前提」

(全国平和教育研究協議会)

準備会・広島平和教育研究所編『平和教育運動』1、

p 135～139、広島教育会館出版部、一九七四(2)

169 「特集Ⅱ教育課程改定への提言」課程審への提言(1) 国語教育の立場から」

(教育調査研究所編『教育展望』、p 10～15、一九七四(3))

170 「特集Ⅱリレー討論 わかる授業をどう組織するか・第一回」わかる授業—その基本—

(現代教育科学) 198、p 119～125、明治図書、一九七四(4)

171 「集団的学習」から「学習集団の形成」へ—教師の指導性について—

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編)

172 「わかる授業と教育内容の精選」

(現代教育科学) 205、p 31～36、明治図書、一九七四(10)

173 「特集Ⅱ新教育課程の構想(7) 授業の組織化—そのための教材研究と発問、理論・方法の研究①」授業の組織化と発問—武田常夫氏の実践に学ぶ—

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編)

〔学校教育〕684、p 6～11、一九七四(10)

174 「特集Ⅱ新教育課程研究(10) 新教育課程における学習内容の創造、理論・方法の研究②」教育内容の創造—どう発想するか—

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編)

175 「子どもの教育にとつていま、何が一番たいせつかシリーズ」子どもに未来への理想を—十代半ばにして人生をあきらめていく子どもたち—

(家庭と教育) 161、p 46～49、東方出版、一九七五(1)

176 「特集Ⅱわかる授業のための教材精選の具体的方法・小学校」小国Ⅱわかる授業と教材精選の視点」

(教育情報センター編集)

177 「特集論文1」集団を必要とする授業—坂本泰造氏の実践に学ぶ—

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編)

〔学校教育〕695、p 6～11、一九七五(9)

178 「子供にとつて魅力ある授業とは」

(小四教育技術)、p 20～24、小学館、一九七五(10)

179 「特集Ⅱ国語科教育学研究のあり方・問題点、5) ドイツ(西ドイツ)の国語科教育学研究—教員養成改革と関連して—」

(西ドイツ)の国語科教育学研究—教員養成改革と関連して—



(井上敏夫・野地潤家編集)

180 「国語科教育学研究」 1、p 146～154、明治図書、一九七五(1)

180 「第一分科会 A II 文学教育と平和教育」平和教育の視点に立つ文学教育―国語科のカリキュラム試案をめぐって」

(日本平和教育研究協議会編『平和教育運動』3、

p 10～17、広島教育会館出版部、一九七六(5)

181 「特集 II 提案に対する意見・3」知識の媒介・確信の形成・諸能力の発達の統一と系統化を」

(『教育学科学・国語教育』20、p 36～41、

明治図書、一九七六(6)

182 「(第一分科会 A II 文学教育と平和教育) 平和教育の視点に立つ文学教育―国語科のカリキュラム試案をめぐって」

(広島県教職員組合教文部編

『広島教育』299、p 10～17、広島教育会館出版部、一九七六(6)

183 「(特集 II 新しい学力と学習集団(6) 教材研究から授業設計への条件②) 教材研究から授業設計への条件―文学教材のばあい」

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

『学校教育』707、p 12～17、一九七六(8)

184 「(特集 II 授業に学習リーダーは必要か1) 国語科授業と学習リーダーの問題」

(『授業研究』162、p 21～26、明治図書、一九七六(10)

185 「(児童文化) 『情況と人間』を読みとらせることのたいせつさ―作品『雲』の教材解釈をめぐって」

(日本平和教育研究協議会編集

『平和教育』3、p 133～134、明治図書、一九七六(1)

186 「(特集 II 中学校新国語科の実践研究の課題・4) 国語科の本質をふまえた実践研究を」

(『教育学科学・国語教育』27、p 160～163、

明治図書、一九七六(12)

187 「(特集 II 第4回全国平和教育シンポジウム報告、第一分科会 A II 文学教育と平和教育) なぜ戦争児童文学を読ませるのか」

(日本平和教育研究協議会編

『広島教育』307、p 10～17、広島県教職員組合教文部、一九七七(1)

188 「(第一分科会 A II 文学教育と平和教育) なぜ戦争児童文学を読ませるのか」

(日本平和教育研究協議会編集『平和教育運動』4、

p 10～17、広島平和教育研究所・出版部、一九七七(1)

189 「(特集 II 教師教育カリキュラムの研究(1)) 教師教育研究の課題」

(広島大学教育研究センター・教師教育プロジェクト編

『大学研究ノート』27、p 1～4、一九七七(2)

190 「(特集 II 平和価値と平和教育) 『特集2：平和教育』広島における平和教育の歩みと今日の課題」

(日本平和学会編集『平和研究』2、p 54～65、日本経営出版会、一九七七(4)

191 「(座談会) 教育基本法と広島県の教育の歩み」

(広島県教職員組合教文部編

『広島教育』310、p 28～39、一九七七(4)

192 「到達目標の設定と評価法改善の意義」

- (広島県教職員組合教文部編)
- 193 「特集Ⅱひとりひとりの読みを生かす授業構造・1」読みを生かす授業の条件」〔教育科学・国語教育〕234、p5510、明治図書、一九七七(6)
- 194 「特集Ⅱ新指導要領の能力・学力観の検討 国語科教育の立場から・4」『情報化社会』適応の国語能力観―ほんとうにこれでいいのか―
- 〔現代教育科学〕245、p8992、明治図書、一九七七(8)
- 195 「いまこそ平和教育の全国化・世界化を―NGO被爆問題国際シンポジウム参加記―」〔広島教育〕315、p47949、一九七七(9)
- 196 「特集Ⅱ実践記録に何を望むか」子どもの変容を書く」(西郷竹彦編集)
- 〔文芸教育〕25、p2834、明治図書、一九七八(1)
- 197 「特集Ⅱ国語科授業の創造」国語科授業の創造のために」(日本国語教育学会編)
- 〔月刊・国語教育研究〕69、p224、一九七八(2)
- 198 「シンポジウム提案Ⅰ」言語教育の今日的課題」(全国大学国語教育学会編)
- 〔国語科教育〕25、p49、学芸図書、一九七八(3)
- 199 「特集Ⅱ個性を伸張し合う学習集団の創造(4) 子どもがどう変わると学習集団が高まったといえるのかⅡ」学習集団の形成と言語活動の指導」(広島大学附属小学校学校教育研究会編)
- 〔学校教育〕732、p1421、一九七八(7)
- 200 「第41回国語教育全国大会シンポジウム」国語科の実践的課題」(日本国語教育学会編)
- 〔月刊・国語教育研究〕77、p2、一九七八(10)
- 201 「特集Ⅱ広島大学改革」教育学部の改組(Ⅰ)―東千田地区を中心に―」〔地域と科学者〕5、p1521、一九七八(11)
- 202 「特集Ⅱ文芸の授業記録の書き方・読み方」実践記録に何を望むか―子どもの変容を書く―」〔文芸教育〕25、明治図書、p2834、一九七九(1)
- 203 「ゆとりの時間」の民主的計画・実践のための視点、原則」(広島県教職員組合教文部編)
- 〔広島教育〕333、p24、一九七九(3)
- 204 「特集Ⅱ「よい授業の条件とは何か」授業の二側面をふまえて」〔教育科学・国語教育〕262、p7879、明治図書、一九七九(6)
- 205 「子どもと教育―子どもの権利保障確立の第一歩として―」(広島県教職員組合編)
- 〔広島教育〕336、p1620、一九七九(10)
- 206 「主張」どこがおかしいのか―平和と民主主義のとらえかえしを―」(日本平和教育研究協議会編集)
- 〔平和教育〕11、p577、明治図書、一九八〇(3)
- 207 「問題提起・2」平和教育は何をどう教える教育か」(日本平和教育研究協議会編集)『平和教育運動』7、

p 84、85、広島平和教育研究所・出版部、一九八〇・五

208 「特集Ⅱ評価観点としての「国語に対する関心・態度」とは何か―観点別学習状況の評価をめぐって・3」目標構造から見た「国語に対する関心・態度」

〔教育学・国語教育〕278、p 15、19、

明治図書、一九八〇・8

209 「授業研究〈授業の検討〉子どもの読みがどう変わったか」

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」763、p 38、41、一九八〇・9〕

210 「特集Ⅱ達成基盤を明確化した授業の可能性」達成基準を明確化した国語科授業の改善

〔現代教育学〕287、p 26、31、明治図書、一九八〇・10〕

211 「特集Ⅱ事例報告を読んだ感想・3」主体的な学習活動を成立させる授業を―到達目標と学習目標の関連を考える―

〔教育学・国語教育〕281、p 55、58、

明治図書、一九八〇・11〕

212 「特集Ⅱ楽しい国語学習を成立させる条件とは何か・3」学習者の内面に対立・矛盾を生み出す授業―そのためのいくつかの視点と方法―

〔教育学・国語教育〕284、p 15、19、

明治図書、一九八〇・11〕

213 「教育への提言②」「励まし合いの教育」をつくり出すために―授業を中心に―

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」763、p 12、17、一九八〇・2〕

214 「第二主題Ⅱ国語・文学の教育と芸術の教育」(討議記録)○

国語・文学の教育のあり方、○表現・理解・鑑賞教育の方法」

(日本国語教育学会

「月刊・国語教育研究」109、p 27、48、一九八〇・5)

215 「授業研究〈授業の検討〉1」単元構成の原理を考える―一つの検討視点として―

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」767、p 38、45、一九八〇・6〕

216 「特集Ⅱ実践課題・2」国語学力論の方向と実践課題」

〔教育学・国語教育〕293、p 76、82、

明治図書、一九八〇・9)

217 「特集Ⅱ国語科単元学習で基礎学力は育つか」基礎学力のとなえ方とその形成―単元学習の何を生かすか―

〔現代教育学〕301、p 23、28、明治図書、一九八〇・12〕

218 「教科書攻撃の意味するもの―国語を例にして―

〔全生研編集「生活指導」293、p 100、107、明治図書、一九八〇・12〕

219 「特集Ⅱ提言・授業のヤマ場を創出するための条件とは・1」

ヤマ場を創出するための三つの条件―「授業の成立」をめざして―

〔教育学・国語教育〕298、p 11、16、

明治図書、一九八〇・2)

220 「教育への提言②」発達論の視点からの教育の見直し―教育の再生を求めて―

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」777、p 12、17、一九八〇・4〕

221 「特集Ⅱ提言・「情報読み」の授業はどうあるべきか・2」認識能力を育てる指導をこそ」

〔教育学・国語教育〕306、p 17～22、  
明治図書、一九八二・九

222 「授業研究〈授業の検討〉」指導的評価のあり方を探る」

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編

「学校教育」783、p 38～43、一九八二・九

223 「第一分科会・基調提案」文学教育と平和教育」

〔日本平和教育研究協議会編集「平和教育運動」9、  
p 29、広島平和教育研究所・出版部、一九八二・10

224 「提言」国語の授業蘇生へのみち―「荒れない」部分への着

目を―」

〔月刊・国語教育研究〕126、p 54～55、一九八二・11

225 「特集Ⅱ教師教育カリキュラムの研究(2)」教師教育カリキュ  
ラムの構造と内容―東独の場合を中心に―」

〔広島大学教育学研究センター・教師教育プロジェクト編

「大学研究ノート」55、p 43～52、一九八二・12

226 「特集Ⅱ「指導内容」の改革は何か・2」形式的言語操作主  
義からの脱却を―」

〔教育学科学・国語教育〕312、p 53～58、  
明治図書、一九八三・1

227 「特集Ⅱ西郷文芸学の検討」構想論―認識・伝達・創造論と  
して―」

〔西郷竹彦編、臨時増刊号  
「文芸教育」37、p 95～102、明治図書、一九八三・1

228 「特集Ⅱ国語教育研究の動向」ドイツ民主共和国における国  
語教育改革の動向」

〔月刊・国語教育研究〕129、p 12～16、一九八三・2

229 「作文意欲を育てる基本―作文への意欲を持たせるには―」

〔月刊国語教育〕18、p 59～65、東京法令出版、一九八三・3

230 「(主題Ⅱ)国語科教育の当面する諸問題の解決を求めて」基調  
提案―主題についての問題提起」

〔月刊・国語教育研究〕135、p 2～3、一九八三・8

231 「特集Ⅱ特集の解明・子どもの作文の見方・ほめ方へ」  
「ほめて育てる」ための基本」

〔実践国語研究〕42、p 6～11、明治図書、一九八三・11

232 「特集Ⅱ「文学教育がひろくもの」シンポジウム報告」状況  
認識の力を―平和教育の視点から―」

〔日本文学〕三三―2、p 20～26、一九八四・2

233 「特集Ⅱ海外の基本語彙」東ドイツにおける学習基本語彙」

〔日本語学〕16、p 87～94、明治書院、一九八四・2

234 「授業研究〈授業の検討1〉」言語に着目した読みの指導を発  
展させるために」

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」802、p 38～41、一九八四・5

235 「授業研究〈授業の検討〉」読み深めの過程を考える」

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」805、p 40～45、一九八四・8

236 「教育への提言1」ひとりひとりを生かす授業の基礎―読み  
の指導の場合―」

〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」808、p 6～11、一九八四・11

237 「特集Ⅱ提言・どんな考えて「教材」を読めばよいか(3)」  
学習者の読みの予測に立った教材研究」

〔月刊・国語教育研究〕129、p 12～16、一九八三・2

- 〔教育科学・国語教育〕343、p 17～22、  
明治図書、一九八五(2)
- 238 「文学の方法」に即し、学習者の読みを予測して」  
〔教育科学・国語教育〕345、p 10～11、  
明治図書、一九八五(3)
- 239 「授業研究〈授業の検討I〉」学習者とともに創る授業」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編  
〔学校教育〕813、p 38～41、一九八五(4)
- 240 「説明的文章の読みの指導研究(三点)」  
〔教育科学・国語教育〕349、p 29、  
明治図書、一九八五(6)
- 241 「特集Ⅱ子どもに今、何を教えるか」人間として、人間らしく」  
(西郷竹彦編  
〔文芸教育〕48、p 45～50、明治図書、一九八五(9)
- 242 「特集Ⅱ誌上シンポジウム・提案に対する意見(2)」読者論  
を導入した授業の具現化をめざして」  
〔教育科学・国語教育〕352、p 23～28、  
明治図書、一九八五(9)
- 243 「提言 III」作文指導の現状と課題」  
(日本国語教育学会編  
〔月刊・国語教育研究〕160、p 26～27、一九八五(9)
- 244 「特集Ⅱ子どもの本と戦争・平和」読書によって子どもの平  
和への認識をどう育てるか」  
(日本子どもの本研究会  
〔子どもの本棚〕48、p 6～15、あゆみ出版、一九八五(9)
- 245 「特集Ⅱ提言・説明文指導をどう改善するか(1)」自問自答  
としての読み」  
〔教育科学・国語教育〕353、p 12～16、  
明治図書、一九八五(10)
- 246 「授業研究〈授業の検討〉」何に関わらせるか―文学作品の読  
みの指導の場合―」(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕820、p 40～45、一九八五(11)
- 247 「ことばの豊かな子が伸びる―すべての子どもに国語の力を―」  
〔家庭と教育〕291、p 6～11、東方出版、一九八五(11)
- 248 「国語教育改革会議に参加して(第1回)・7」文学教育の  
充実・発展をめざして」〔教育科学・国語教育〕358、p 186～192、  
明治図書、一九八六(1)
- 249 「(司会者としての感想) 文学作品の特殊性をふまえた読みを」  
〔現代教育科学〕352、p 91～95、明治図書、一九八六(3)
- 250 「授業研究〈授業の検討I〉」対話としての読み―授業から触  
発されたこと―」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕825、p 39～42、一九八六(4)
- 251 「特集Ⅱ個に応じ、個性を伸ばす教材の開発へ教育への提言」  
個に応じる教材化の工夫」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕828、p 6～11、一九八六(7)
- 252 「提言II」授業の成立をめざして」  
(日本国語教育学会編  
〔月刊・国語教育研究〕173、p 26～27、一九八六(10)
- 253 「提言IV」国語の授業を魅力あるものに」  
(日本国語教育学会編  
〔月刊・国語教育研究〕174、p 24、一九八六(11)

254 「授業研究〈授業の検討〉」 説明文教材の読みの指導―提案の意義と課題―  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」833、p 40～45、一九八六二〕

255 「提言―教育課程審議会「中間まとめ」―私はこうみる）戦後の研究と実践を踏まえた改訂を」  
〔月刊国語教育〕64、p 76～78、東京法令出版、一九八七二

256 「主張）平和の問題を考える力を育てよう」  
〔平和教育〕25、p 5～7、明治図書、一九八七二  
〔日本平和教育研究協議会編集

257 「特集Ⅱ説明文の授業改善をめざして・意見1）教師の指導性の確立を」  
〔国語の授業〕78、p 17～22、一光社、一九八七二  
〔児童言語研究会編

258 「特集Ⅱ入門 芦田恵之助）近代教育史の中で芦田実践をとらえたい」  
〔教育科学・国語教育〕376、p 193～194、明治図書、一九八七三

259 「特集Ⅱ「自己学習力」は個性の伸張とどうかかわるかへ教育への提言」  
〔自己学習力〕と個性の伸張―内発的動機づけの問題を中心に―  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」839、p 6～11、一九八七六

260 「授業研究〈授業の検討〉」 説明文の授業について」  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」840、p 38～41、一九八七七

261 「シンポジウム提案 言語コミュニケーションの力と授業」  
〔日本国語教育学会編

262 「特集Ⅱ戦後の国語教育論争から学ぶ）基礎学力論争から学ぶ」  
〔教育科学・国語教育〕388、p 24～29、明治図書、一九八八一

263 「授業研究〈授業の検討〉」 説明文指導の創意・工夫」  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」846、p 38～41、一九八八一

264 「問題提起）学習者が意欲的に取り組む国語教室の創造―国語科教育改革の実践的課題」  
〔月刊・国語教育研究〕197、p 2、一九八八二  
〔日本国語教育学会編

265 「シンポジウム提案①）外からの改革と内からの改革の接点を求めて」  
〔各教科別改訂のポイントと問題点・国語・基本的性格にかかわる矛盾）言語教育の重視と道徳教育の充実」  
〔子どもと教育〕臨時増刊号、p 24～27、あゆみ出版、一九八九一

266 「研究会のまとめ）対話成立の条件」  
〔大下学園国語科教育研究会編集  
「研究紀要」25、p 100～102、大下学園祇園高校、一九八九三

267 「授業研究〈授業の検討〉」何をどのように読み取らせるか―提案事項の検討―  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
「学校教育」862、p 38～41、一九八九五

268 「授業研究〈授業の検討〉」何を読むとらせるのか」を求めて」  
〔広島大学附属小学校・学校教育研究会編

【学校教育】866、p 38～41、一九八九9)

270 「シンポジウム提案④」 中学・高校における言語指導の課題」  
(日本国語教育学会編

【月刊・国語教育研究】209、p 13～14、一九八九10)

271 「連載—平和教育入門講座・教科をとおして平和教育をどう  
すすめるか 1」 国語・文学教育と平和教育」  
(日本平和教育研究協議会編集

【平和教育】38、p 105～112、明治図書、一九九〇4)

272 「特集Ⅱ文芸の授業でどんな力を育てるか」「人間認識の力を  
育てる」 文芸教育論の学力論的体系とその意義」 (西郷竹彦編

【文芸教育】51、p 39～45、明治図書、一九九〇6)

273 「今後の課題」「ことばを育て、心を育てる」 国語教育を」  
(日本国語教育学会編

【月刊・国語教育研究】218、p 115、一九九〇7)

274 「授業研究〈授業の検討〉」 学習課題を深くとらえて—真の学  
習を成立させるために—」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

【学校教育】878、p 38～41、一九九〇9)

275 「特集Ⅱ授業記録についての誌上シンポジウム」 文学の授業—  
提案についての二三の私見—」  
(児童言語研究会編

【国語の授業】100、p 60～62、一光社、一九九〇10)

276 「授業研究〈授業の検討〉」 文学の授業における共体験の成立  
と意味づけ」  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

【学校教育】887、p 38～43、一九九一6)

277 「特集Ⅱ」「言語教育と文学教育」 論争が国語科教育に示唆す  
るもの) 国分・石田論争を正當に位置づけよ」  
(「教育科学・国語教育」47、p 17～19、  
明治図書、一九九一8)

明治図書、一九九一8)

278 「個が伸びる国語教室の創造 シンポジウム提案②」 個と集  
団の弁証法的、力動的関係の展開を」  
(日本国語教育学会編

【月刊・国語教育研究】233、p 28～29、一九九一10)。  
279 「戦後の学力論争から見た新指導要録の学力観」  
(「現代教育科学」422、p 9～13、明治図書、一九九二1)

280 「特集Ⅱ提案に対する意見」「文学の授業では何を教えるのか—  
西郷提案の教授学的意義—」  
(西郷竹彦編

【文芸教育】59、p 12～17、明治図書、一九九二2)

281 「大村先生のご提案をどう受けとめるか—ひとりの聞き手とし  
て考えたこと—」  
(大下学園国語科教育研究会編

【研究紀要】29、p 26～28、大下学園祇園高校、一九九二3)

282 「授業研究〈授業の検討〉」 子どもの読みを生かす授業の工夫」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編

【学校教育】899、p 38～43、一九九二6)

283 「特集Ⅱ認識力と表現力がどう結びつけられているか」 教科  
書教材の活用と欠落の補充を」  
(「教育科学・国語教育」462、p 34～35、  
明治図書、一九九二7)

284 「明日へつながる国語科教育のあり方を求めて シンポジウ  
ム提案Ⅱ」 「明日へつながる授業」をつくるために」

明治図書、一九九二7)

(日本国語教育学会編)

(日本国語教育学会編)

285 「特集Ⅱ新しい学力観に立った国語科教育」新しい学力観に立った指導の改善」

〔月刊国語教育〕134、p 36～39、東京法令出版、一九九二(1)

286 「特集Ⅱいま、なぜ「絶対評価」なのか―相對評価の功罪

提言 通知表の目的に合致した方向への改善を」

〔現代教育科学〕433、p 5～7、明治図書、一九九二(12)

287 「(IシンポジウムⅡ)これからの国語学力像を構想する」司会者のことば」

〔国語科教育〕40、p 3、学芸図書、一九九三(3)

288 「(誌上授業研究Ⅱ実践提案を読んでの感想)「問題解決学習」の今後の課題」

〔現代教育科学〕436、p 46～47、明治図書、一九九三(3)

289 「(特集Ⅱキーワードでみる国語科実践研究の最前線)「関心・意欲・態度」の評価」

〔教育科学・国語教育〕476、p 152～155、明治図書、一九九三(6)

290 「(特集Ⅱ読み方の習得を目指した国語科指導Ⅱ特集テーマへの提言)物語文の系統的読み方指導―読者への働きかけの装置に着目して―」

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕911、p 6～11、一九九三(6)

291 「『新学力観』にもとづく学習指導」

〔KGKジャーナル〕315、p 2～3、開隆堂、一九九三(7)

292 「(巻頭言)論理的作文指導のポイントは何か」

〔月刊・国語教育研究〕256、p 1、一九九三(8)

293 「特集Ⅱ気になる「実践用語」を解明する・用語解説」9コ  
ミニケーション技術」

〔教育科学・国語教育〕478、p 32、明治図書、一九九三(8)

294 「授業研究(授業の検討)主体的な学習活動をつくりだし、「読み方」を身につけさせるために」

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕913、p 38～43、一九九三(8)

295 「(シンポジウム提案(へ1))学ぶ喜びを生み出す国語教室」

(日本国語教育学会編

〔月刊・国語教育研究〕258、p 30～31、一九九三(10)

296 「(特集Ⅱ観点別学習状況評価の参考資料は「評価基準」になるか)「評価規準」をみる二つの立場―なる場合、ならない場合―」

〔現代教育科学〕445、p 17～19、明治図書、一九九三(12)

297 「(特集Ⅱ新学力観は「知識」否定の学力観かⅡ国語科の新学力観Ⅱ批判する側の言い分)国語科教育改革の理念としての「新学力観」の検討―若干の疑問点・問題点を中心に―」

〔現代教育科学〕446、p 15～18、明治図書、一九九四(1)

298 「(IシンポジウムⅡ)認知科学が国語教育に示唆するもの」司会者のことば」

(全国大学国語教育学会編  
〔国語科教育〕41、p 3、学芸図書、一九九四(3)

299 「(授業研究(授業の検討)何のために、何を、どうイメージ



化させるのか—イメージ化の自己目的化に警戒を—

(広島大学附属小学校学校教育研究会編

「学校教育」920、p 38～43、一九九四3)

300 「授業研究〈授業の検討〉語り方(文体)をふまえた読みの指導」  
(広島大学附属小学校学校教育研究会編

「学校教育」923、p 39～43、一九九四6)

301 「特集Ⅱ自己学習力を育てる総合単元学習」戦後の「国語単元学習」の問題点と授業への示唆」  
(「教育科学・国語教育」495、p 43～48、

明治図書、一九九四8)

302 「特集Ⅱ文部省指導資料にみる「支援」観の検討」教育観全体の中から「支援」観を検討する—「小学校 国語指導資料」を中心に—

(「現代教育科学」457、p 8～10、明治図書、一九九四12)

303 「特集Ⅱ「新しい学力観」と授業の変革Ⅱ特集テーマへの提言」「苦役」から「喜び」へ—授業改善の方向を考える—

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

「学校教育」932、p 6～11、一九九四3)

304 「特集Ⅱ続・国語科が危ない—国語科を取り巻く環境」国語科の指導内容をどう精選するか」

(「月刊国語教育」166、p 10～13、東京法令出版、一九九五5)

305 「特集Ⅱ新しい国語科を創る新単元学習の提唱」『国語科新単元学習の構想と授業改革』を読んだ感想—「総合単元学習」を発展させるための具体的課題—

(「教育科学・国語教育」508、p 279～283、

明治図書、一九九五5)

306 「基礎学力擁護論」(「教育科学・国語教育」510、p 65～68、

明治図書、一九九五6)

307 「特集Ⅱ特集の解明①・音読・朗読で展開する文学の授業」音読・朗読による文学作品の読み深めの指導」

(「実践国語研究」151、p 6～11、明治図書、一九九五9)

308 「授業研究〈授業の検討〉反復・対比の構造をふまえた読みの試み—その意義と残された課題—」

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

「学校教育」938、p 38～41、一九九五9)

309 「特集Ⅱ「学習指導要領」の検討Ⅱ思考力低下との関連を探る」52年版学習指導要領の問題点—国語を中心に—

(「現代教育科学」467、p 45～48、明治図書、一九九五10)

310 「シンポジウム提案②」未来に生きる言語的実践力の育成の基盤を求めて」  
(「日本国語教育学会編

「月刊・国語教育研究」282、p 48～49、一九九五10)

311 「特集Ⅱ個が生きる教育の今後の課題Ⅱ特集テーマへの提言」個が生きる教育の今後の課題」

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

「学校教育」944、p 6～11、一九九六3)

312 「特集Ⅱ評価」転換期における国語学力論の課題」

(「教育科学・国語教育」528、p 31～32、

明治図書、一九九六7)

313 「シンポジウム提案へ1」 確かで豊かな国語力の育成―活動

主義的国語科授業の問題点とその克服―(日本国語教育学会編

『月刊・国語教育研究』294、p 44～45、一九九六10)

314 「特集Ⅱ学習指導要領改訂に向けての提案・私ならここを書き直す・1」 国語科の構造と「内容」の再編

〔教育科学・国語教育〕537、p 73～75、

明治図書、一九九七2)

315 「特集Ⅱ新しい時代が求める教育を探るⅡ特集テーマへの提言」 学びの転換

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

『学校教育』956、p 18～23、一九九七3)

316 「提言Ⅱ21世紀にふさわしい学習指導要領「国語」とは・現行の問題点と改善点」 教育課程全体の中に位置付けた改善を

〔教育科学・国語教育〕542、p 30～33、

明治図書、一九九七5)

317 「特集Ⅱ子どもの表現力」 欧米における作文指導

(文部省大臣官房調査統計企画課編集

『教育と情報』472、p 22～27、第一法規、一九九七7)

318 「シンポジウム提案②」 「関わり合う力」を育てる

(日本国語教育学会編

『月刊・国語教育研究』306、p 54～55、一九九七10)

319 「授業研究へ授業の検討」 「意味づけ・価値づけ」の読み授業への提案

(広島大学附属小学校・学校教育研究会編

『学校教育』964、p 38～41、一九九七11)

究との関わりを明確に」 〔教育科学・国語教育〕550、p 29～32、

明治図書、一九九七11)

321 「特集Ⅱ教科内容スリム化のためにここに「厳選」したい・

国語科」 国語科教育の改善をめざして「教科内容」を考える」

(現代教育科学) 494、p 26～28、明治図書、一九九七12)

322 「特集Ⅱ21世紀への提言「国語教育の改善に向けて」 5言語教育としての性格を重視した国語科の推進を図る」 欧米諸国の国語教育の当面する基本課題と今後の国語教育

(日本語学) 191、p 143～149、明治書院、一九九八1)

323 「特集Ⅱ第一三回市民教育講座 子どもたちの学力を豊かに育てるために―教課審「中間まとめ」をどう読むか―」

(広島教育研究所編

『ヒロシマの子育て・教育』85、p 4～9、一九九八2)

324 「特集Ⅱ思考力・表現力を育てるための・「文学教材」の授業―ここを改善したい」 中学校・文学教材を表現教材として生かす

〔教育科学・国語教育〕555、p 45～47、

明治図書、一九九八3)

325 「特集Ⅱ「自ら学ぶ意欲を育てる教育課程の編成と、評価の方法の開発」Ⅱ国語科「総合的な学習活動における評価を探る国語科教育」 本研究の成果と今後の課題」

(広島大学附属福山中・高等学校編

『中等教育研究紀要』38、p 30、一九九八3)

326 「特集Ⅱ段落分け指導・人物の気持ちの読み取りの是正・4」 段落分け指導・人物の気持ちの読み取りの問題点とその改善

〔教育科学・国語教育〕58、P133〜136、  
明治図書、一九九八4)

327 〔特集Ⅱ生活科と他教科との合科的な指導研究の要点〕生活  
科と国語科との合科的な指導研究の要点〕  
〔生活科と共に総合的学習を創る〕87、P15〜17、  
明治図書、一九九八4)

328 〔教科教育学研究パラダイムの検討―教科教育学の反省と課題―〕  
(日本教科教育学学会編  
明治図書、一九九八4)

329 〔シンポジウム：確かで豊かな表現力の育成―音声表現を中  
心に 2〕音声言語の指導―今、何が重要か〕  
(日本国語教育学会編  
平成10年全国大会論文集、P84〜85、一九九八8)

〔月刊・国語教育研究〕318、P42〜43、一九九八10)  
(日本国語教育学会編

330 〔特集Ⅱ授業の検討〕授業研究・説明文の読みにおける表象化〕  
(広島大学附属小学校・学校教育研究会編  
〔学校教育〕976、P38〜41、一九九八11)

### ▽学界時評

331 〔広島大学国語国文学会・国語教育研究協議会の歩み〕

(広島大学国語国文学会編  
〔国文学攷〕47、P36〜45、一九六八7)

332 〔戦後高校国語教育の歩みとこれからの課題〕

(〔国語科通信〕39、P18〜29、角川書店、一九七八11)

333 〔第二部研究情報〕一 基礎学力の研究動向〕

(〔教育科学・国語教育〕303、P50〜53、  
明治図書、一九八二6)

334 〔巻頭言〕根底からの国語教育の問い直しを〕

(日本国語教育学会編

335 〔学会活動の新たな展開を念じつつ―理事長就任のごあいさつ―〕  
〔月刊・国語教育研究〕157、P1、一九八五6)

(全国大学国語教育学会編

336 〔広島〕

〔国語科教育〕43、P128、学芸図書、一九九六3)

337 〔広島〕

〔教育科学・国語教育〕380 〔国語教育  
研究年鑑87年版〕、P193〜194、明治図書、一九八七6)

338 〔広島〕

〔教育科学・国語教育〕415 〔国語教育  
研究年鑑89年版〕、P202〜203、明治図書、一九八九7)

339 〔広島〕

〔教育科学・国語教育〕428 〔国語教育  
研究年鑑90年版〕、P194〜195、明治図書、一九九〇6)

340 〔特集Ⅱ国語教育人物誌〕

〔教育科学・国語教育〕557、P101、  
明治図書、一九九八4)

341 〔特集Ⅱ国語教育人物誌〕

〔教育科学・国語教育〕570、P101、  
明治図書、一九九八1)

II 解題・書評・月報・新聞

- 342 「(書評) 国語科の授業研究 6」8  
 (「授業研究」44、p 110～112、明治図書、一九六七5)
- 343 「戦前教育といまの私」原稿募集によせて  
 (「中国新聞」、一九七三2)
- 344 「戦前の教育と私」の選考を終えて  
 (「朝日新聞」、一九七三6・6)
- 345 「(書評) 井上弘著『よい授業の条件』(現代授業論双書1)」  
 (「現代教育科学」207、p 104～105、明治図書、一九七四12)
- 346 「国語教育研究の初心―『国語教育字の構想』への書きこみから―」  
 (「西尾実国語教育全集」7・月報7、p 50～52、教育出版、一九七五10)
- 347 「巨峰へのアプローチ」(「垣内松三著作集」4付録、p 6～8、光村図書、一九七七11)
- 348 「(日平研図書室) 森田俊男・横川嘉範編『平和教育―何を教え語りつくか―』、国民教育研究所編『平和教育の理論と実践』(日本平和教育研究協議会編集『平和教育』8、p 125～128、明治図書、一九七八6)
- 349 「読書案内 中学・高校編」「中学校編」「原爆詩集」峠三吉  
 「民族の怒りと未来への警告」p 80～84  
 (日本文学協会編、大修館書店、一九八一11)
- 350 「読書案内 小学校編」「ハイジ」p 338、「長くつ下のピッピ」  
 (日本文学協会編、大修館書店、一九八二5)
- 351 「目からうろこが落ちる」思い  
 (「大村はま国語教室」9・月報2、p 3～5、筑摩書房、一九八三1)
- 352 「(図書紹介)『核未来戦争に関する本』  
 (日本平和教育研究協議会編集『平和教育』18、p 84～87、明治図書、一九八四4)
- 353 「(新刊紹介) 授業学研究会・岡山大学教授長田久男他編著『小学校教材論』」  
 (「実践国語教育情報」29、p 58～59、教育出版センター、一九八六5)
- 354 「戦後創始期の国語教育を確かめる」  
 (「倉澤栄吉国語教育全集」2・月報8、p 1～2、角川書店、一九八八12)
- 355 「(連載) 国語教育基本文献解題」古田拡著(一九五二年)「聞くことへの教育」  
 (「教育科学・国語教育」497、p 82～83、明治図書、一九九四9)
- 356 「(連載) 国語教育者への道(28)」大槻和夫  
 (「教育科学・国語教育」527、見返し頁、明治図書、一九九六7)
- 357 「学びつつ、乗り越えたい」  
 (「西郷竹彦文芸・教育全集」27・月報15、p 3～5、恒文社、一九九七3)
- 358 「(連載) 国語教育基本文献解題」古田拡著「国語教室の機微と創造」

〔鍛える国語教室〕 18、p 97～98、明治図書、一九九八(12)

### III 事典・辞典

359 〔小学校国語科指導事典〕〔諸外国における国語教育の概要・

ドイツ民主共和国〕 p 247～248

(倉澤栄吉ほか編、第一法規、一九七二・五)

360 〔読解読書指導事典〕〔諸外国における読むことの指導・ドイ

ツ民主共和国〕所在頁未確認

(倉澤栄吉ほか編、第一法規、一九七三・六)

361 〔平和教育実践事典〕〔項目執筆、無記名〕

(広島平和教育研究所編、労働旬報社、一九八一・六)

362 〔教科教育の基礎用語シリーズ 国語科重要用語300の基礎知識〕

18 〔コミュニケーション〕 p 28

33 〔行動目標〕 p 42

35 〔態度〕 p 44

36 〔知識〕 p 46

37 〔理解〕 p 47

38 〔習熟〕 p 48

52 〔言語活動の形態〕 p 62

148 〔利用指導〕 p 158

149 〔学校図書館〕 p 159

152 〔適書〕 p 162

154 〔読書能力〕 p 164

155 〔読書実態調査〕 p 165

191 〔インタビュー〕 p 201

258 〔修飾・被修飾〕 p 268

294 〔評価〕 p 304

295 〔到達度評価〕 p 305

296 〔形成的評価〕 p 306

298 〔面接法〕 p 308

299 〔観察法〕 p 309

363 〔日本大百科全書〕〔暗唱〕〔音読〕〔朗読〕〔生活綴り方的教

育〕など項目執筆

(野地潤家編、明治図書、一九八一・八)

364 〔平和事典〕〔IV平和と教育―2平和教育運動(7)〕〔広島平和

教育研究所〕 p 130、(16) 〔戦争児童文学〕 p 137～138、―4平和

教育教材(1) 〔教科書〕(2) 〔副教材〕(3) 〔文学作品〕 p

142～143 (広島平和文化センター編、勁草書房、一九八五・10)

365 〔世界歴史大辞典〕〔解釈学〕 p 39 〔生成文法〕 p 68

(梅棹忠夫、他監修、教育出版センター、一九八六・1)

366 〔現代教育評価事典〕〔国語科の評価〕所在頁未確認

(東洋ほか編、金子書房、一九八八・3)

367 〔現代授業研究大事典〕〔外言と内言〕 p 180～181、〔投げ込み

教材〕 p 513～514、〔読総合法〕 p 614～616

(吉本均編、明治図書、一九八七・3)

368 〔国語教育研究大辞典〕〔ディルタイ〕 p 607、〔ドイツの国語

科教育」p 613～615、「野地潤家」p 657～658」

(国語教育研究所編、明治図書、一九八八)

369 「中学校国語教材研究大事典」「第Ⅲ部文学の教材研究・文学

の教材3年「まじさんのうた」阪田寛夫(学図3年)」p 369～372」

(国語教育研究所編、明治図書、一九九三)

#### IV 選評

370 「特集号：第2回東広島市小中学生作文コンクール・総評

考えを深めるために——小中学生のみなさんへ——」

(「ひがしひろしま」292、東広島ジャーナル、一九八三7・29)

371 「選評」読書感想文を読んで」

(広島県読書推進運動協議会・中国新聞社・広島県公共図書館

協会編「文集(読書感想文コンクール入賞者作品から)」

1 平成2年度(p 1～2、一九九一1・1)

2 平成3年度(p 1～2、一九九二1・1)

3 平成4年度(p 1～2、一九九三1・1)

4 平成5年度(p 1～2、一九九四2・)

5 平成6年度(p 1～2、一九九五1・1)

6 平成7年度(p 1～2、一九九六1・1)

7 平成8年度(p 1～2、一九九七1・1)

8 平成9年度(p 1～2、一九九八1・1)

9 平成10年度(p 1～2、一九九九1・1)

#### V 緒言・随想

372 「特集Ⅱ古典解釈について——土井忠生先生から教えていただき、感銘していること」土井先生に教えていただいたこと」

(広島大学教育学部光葉会編

「国語教育研究」9、p 109～111、一九六四11)

373 「文章表現の年輪」

(せせらぎ会編「せせらぎ」58、p 1、一九七八9)

374 「野地潤家先生に学びて」「まえがき」p i～iii、「師恩」p

43～50」

(編著、野地潤家先生御退官記念事業会、一九八四8)

375 「宇宙の単位で数えてみれば」

(ひろしまゆたかな保育をすすめる会編

「広島ゆたかな保育」14、p 1、一九八六6・10)

376 「老化の兆候測定」に思う」

(広島大学レクリエーション委員会編

「不死鳥」26、p 21～24、一九八七)

377 「広島大学四十一年の日々」〔第六章教育学部部長の一年間 1

「教育学部の改組」p 145～147」

(沖原豊学長退官記念誌刊行会編、第一法規、一九九〇3)

378 「清水文雄先生への私信」

(王朝文学の会編「河」24、p 88～89、一九九一6)

379 「特集Ⅱ卒業生の進路」教科教育学科国語教育学専修」

- (「広島大学教育学部・後援会報」1、p9、一九九二4)
- 380 「特集」浮橋康彦先生退官記念論集」浮橋康彦先生ご講演記録の掲載にあたって」 (広島大学教育学部光葉会編  
 「国語教育研究」36、p13、一九九三3)
- 381 「新任のご挨拶にかえて」 (広島大学附属学校部編  
 「広島大学附属学校だより」31、p1、一九九三7)
- 382 「今月のことば」  
 〓 広島大学附属小学校・学校教育研究会編「学校教育」
- 1 「待つ」ということ (913、p5、一九九三8)
  - 2 「夏休みの宿題」 (914、p5、一九九三9)
  - 3 「苦手だった体育―運動会に思う」 (915、p5、一九九三10)
  - 4 「時代と音楽―素人の音楽談義」 (916、p5、一九九三11)
  - 5 「子どもの心を読む」 (917、p5、一九九三12)
  - 6 「社会の変化と家庭科教育」 (918、p5、一九九四1)
  - 7 「入試シーズンに思う」 (919、p5、一九九四2)
  - 8 「関心・意欲・態度」 (920、p5、一九九四3)
  - 9 「これからの取り組みにあたって」 (921、p5、一九九四4)
  - 10 「児童文集を読んで考えたこと―これからの教育課程について」 (922、p5、一九九四5)
  - 11 「わかる」ということ (923、p5、一九九四6)
  - 12 「ものの見方・考え方」を育てるとのこと (924、p5、一九九四7)
  - 13 「皆さん」という言葉 (925、p5、一九九四8)
  - 14 「学習における想像の働き」 (926、p5、一九九四9)
- 15 「チューリップの歌」―個人と集団の関係について (927、p5、一九九四10)
  - 16 「討論」寸感 (928、p5、一九九四11)
  - 17 「価値観の教育としての環境教育」 (929、p5、一九九四12)
  - 18 「自分の実現したい夢」が芽生え、膨らむ教育を (930、p5、一九九四1)
  - 19 「その日暮らし」からの脱出―新年に思う (931、p5、一九九四2)
  - 20 「年度末の苦い思いを新年度への希望に換えて」 (932、p5、一九九四3)
  - 21 「人間への信頼―阪神大震災の中で考えたこと」 (933、p5、一九九四4)
  - 22 「話し方の修練―子どもたちの反応から学ぶ」 (934、p5、一九九四5)
  - 23 「今こそ醒めた目を―徒然草に学ぶ」 (935、p5、一九九四6)
  - 24 「今、なぜ「いじめ」が」 (936、p5、一九九四7)
  - 25 「ニヒリズムとのたたかい―戦後五十年に思う」 (937、p5、一九九四8)
  - 26 「生き物を飼う」ということ (938、p5、一九九四9)
  - 27 「創立九十周年に思う」 (939、p5、一九九四10)
  - 28 「子どもの言葉を聞いてやれない私たち」 (940、p5、一九九四11)
  - 29 「この一年を顧みて―教育の再生を夢みつつ―」 (940、p5、一九九四11)

- 30 「はる」への期待」 (941、p 5、一九九五12)
- 31 「クタバってたまるか」 (942、p 5、一九九六1)
- 32 「大文字の文化が語り合える言葉の力をこそ」 (943、p 5、一九九六2)
- 33 「現実のなかに未来を見る」 (944、p 5、一九九六3)
- 34 「小学校へのパソコンの導入」 (945、p 5、一九九六4)
- 35 「学校そのものを問い直す努力を」 (946、p 5、一九九六5)
- 36 「総合学習」への期待」 (947、p 5、一九九六6)
- 37 「花火」 (948、p 5、一九九六7)
- 38 「虫の音」 (949、p 5、一九九六8)
- 39 「学芸会と文化祭」 (950、p 5、一九九六9)
- 40 「猫の缶詰―痛みを感じつつ―」 (951、p 5、一九九六10)
- 41 「命あるものへのいとおしみ」 (952、p 5、一九九六11)
- 42 「年賀状」 (953、p 5、一九九六12)
- 43 「学校にも「規制緩和」を」 (954、p 5、一九九七1)
- 44 「要求と尊敬」 (955、p 5、一九九七2)
- 45 「ランドセルのなかみ」 (956、p 5、一九九七3)
- 46 「子どもへの注文、自分への注文」 (957、p 5、一九九七4)
- 47 「宇宙と日常性」 (958、p 5、一九九七5)
- 48 「まえがき」 (959、p 5、一九九七6)
- 1 22号 (p 1、一九九四3) 〃 広島大学附属小学校編「研究紀要」
- 2 23号 (p 1、一九九五9)
- 3 24号 (p 1、一九九六9)
- 385 「広島大学附属小学校 創立九十周年記念資料集」〔創立九十周年を迎えて〕p 1 (創立九十周年記念資料集編纂委員会編 広島大学附属小学校、一九九五10)
- 386 「まえがき」 (広島大学附属小学校編 『第87回研究発表協議会発表要項』、p 1、一九九七1)
- 387 「まえがき」 〃 広島大学附属小学校校文集編集委員会編 『児童文集ポプラ』、広島大学附属小学校 1 26号(下学年：p 2～3、上学年：p 2～3、一九九四3) 2 27号(下学年：p 2～3、上学年：p 2～3、一九九五3) 3 28号(下学年：p 2～3、上学年：p 2～3、一九九六3) 4 29号(下学年：p 2～3、上学年：p 2～3、一九九七3)
- 388 「贈る言葉」 (広島大学附属小学校第92回卒業生編 『平成8年度卒業文集 はばたけ』、p 2～3、一九九七3)
- 389 「懺悔と期待」 (広島大学附属学校部編 『広島大学附属学校だより』 43、p 1、一九九七3)
- 390 「紙風船―明日への希望を求めて―」 (単著、広島大学附属小学校・学校教育研究会、一九九七9)
- 391 「折り折りのことば」 (『河』の会編『統「河」』 3、p 73～76、一九九八11)
- 392 「巻頭言 言葉と事実」 (『月刊国語教育研究』 320、p 1、一九九八12)



## VI 講演記録

- 393 〔講演記録〕 自主的に生き生き学習する子をどう育てるか  
 (府中中学校 P T A 広報部編集)
- 394 〔講演記録〕 子育てを見直すへ一九七九・一七・一九七三・二・二八  
 高須小学校 (学年だより二年 たんぼほ) 特別号その1〜17、  
 一九七九・一七・一九八〇・一・二八)
- 395 〔講演記録〕 子どもの暮らしと心と言葉  
 (広島県高等学校教育研究会国語部会編  
 『年報』25、p 3〜18、一九八四・三)
- 396 〔講演記録〕 生き生きとした古典の学習を求めて  
 (古典教育研究会編『古典教育』9、p 62〜77、  
 広島附属中・高等学校内古典教育研究会、一九八四・一)
- 397 〔授業改善の試み〕『講演内容と県外視察報告』生徒一人ひとりを生かす授業」p 88  
 (広島県立呉昭和高等学校編、同発行、一九八七・三)
- 398 〔小講演〕 文学作品の読みの授業における「感動」と「意味づけ」——高等学校のお二人の報告を聞いて考えたこと  
 (日本国語教育学会編  
 『月刊・国語教育研究』21、p 32〜33、一九九〇・10)
- 399 〔講演要旨〕 意欲の主体的に学ぶ国語科授業の工夫  
 (『第23回中国地区私学教育研修会・第21回広島県分科会』
- 400 p 20〜21、広島県私立中学・高等学校協会、一九九一・一)  
 〔講演記録〕 国語科新教育課程実施上の諸問題」(一九九〇年  
 一月九日、於・広島大学附属中・高等学校中等教育研究大会  
 (広島大学附属中・高等学校国語科編  
 『国語科研究紀要』別冊、p 1〜14、一九九一・3)
- 401 〔講演要旨〕 中高国語科授業の工夫  
 (『第24回中国地区私学教育研修会・第22回広島県分科会』  
 p 26〜28、広島県私立中学・高等学校協会、一九九二・1)
- 402 〔講演要旨〕 中高国語科授業の工夫  
 (『第25回中国地区私学教育研修会・第23回広島県分科会』  
 p 28、広島県私立中学・高等学校協会、一九九三・2)
- 403 〔講演記録〕 子どもと創る国語科の授業  
 (兵庫教育大学・国語教育探求の会編  
 『国語教育探求』4、p 3〜24、一九九五・3)
- 404 〔日本における国語教育改革の動向〕  
 (98 韓国国語教育研究会編  
 『夏学術発表会 (於ソウル女子大学校パロム教育会  
 館会議室) 資料集』、p 35〜39、一九九八・8・21)

## VII その他(教科書編集関連) 指導書、指導用冊子等) 著述)

- 405 〔巻頭論説〕 戦争をどう教えるか  
 (『学図教科研究—中学校編—国語』3、p 1〜6、

- 406 「故郷」取り扱い上の二―三の問題」  
 学校図書、一九七八(6)  
 (『学図教科研究―中学校編―国語』19、p 437、  
 学校図書、一九八〇(1))
- 407 「表現・理解の関連指導のあり方―なにを軸にするか―」  
 (『学図教科研究―小学校編―国語』29、p 739、  
 学校図書、一九八一(1))
- 408 「国語科教育と人権・平和の教育」  
 (『学図教科研究国語―中学校編―』91、p 135、  
 学校図書、一九八七(7))
- 409 「万葉の旅から」  
 (『学図教科研究国語―中学校編―』121、p 134、  
 学校図書、一九九〇(7))
- 410 「万葉の旅から(続)―志貴皇子の歌を中心に―」  
 (『学図教科研究国語―学校編―』131、p 58、  
 学校図書、一九九一(10))
- 411 「小学校 国語」及び同「指導書」  
 学校図書
- 412 「中学校 国語」及び同「指導書」  
 学校図書
- 413 「高等学校 国語Ⅰ」及び同「指導書」  
 学校図書
- 414 「高等学校 国語Ⅱ」及び同「指導書」  
 学校図書
- 415 「高等学校 現代文」及び同「指導書」  
 学校図書